

記事内容

- ☆ 2013 平和行動 in 沖縄
- ☆ 第 23 回参議院議員選挙
- ☆ 組織拡大研修会 / 女性のための STEP UP セミナー開催について / 熱中症に注意
- ☆ メンタルヘルス研修会
- ☆ 青年委員会「ユースラリー」の開催について / 8月の行動日程
- ☆ あけぼのビル

2013平和行動in沖縄

「願う」平和から「叶える」平和へつながろうNIPPON!

日程

1日目
(6/23)

■2013平和オキナワ集会

と き 15:00~17:00

ところ 那覇市民会館大ホール

テーマ 第1部 基調講演

「在沖縄米軍基地と構造的差別」

講師:佐藤 優氏

第2部 平和式典

2日目
(6/24)

■ピース・フィールドワーク(連合群馬と合同行動)

内 容 糸数アブチラガマ→平和祈念公園→ひめゆりの塔

・資料館→旧海軍司令部壕→集会場

■「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本見直し」を
求める行動

内 容 集会(県庁前県民広場)

デモ(県庁前→国際通り→牧志公園)

参加者氏名

- 田中 茂雄 (JAM埼玉/KYB労働組合)
橋本 彰夫 (JAM埼玉/シチズンマイクロ労働組合)
皆川 元規 (運輸労連埼玉/関東通運労働組合)
大塚 弘 (運輸労連埼玉/ヤマト運輸労働組合埼玉支部)
吉田 賢 (埼交運/日本梱包運輸労働組合)
遠藤有希子 (国公総連埼玉/全財務労働組合埼玉支部)
柴崎 直哉 (川越・西入間地域協議会
/マーレフィルターシステムズ労働組合)
村田 真人 (朝霞・東入間地域協議会/新日本無線労働組合)
青砥 俊浩 (西部第四地域協議会/ソーシン労働組合)
大野 政幸 (比企地域協議会/ボッシュ労働組合)
鈴木 勝宏 (東部地域協議会
/NTT労働組合北関東総支部越谷分会)
林 光治 (北埼玉地域協議会
/日本ワイパーブレード労働組合)
下入佐隆行 (青年委員会/本田技研労働組合埼玉支部)
渡辺真由美 (女性委員会/全農林関東農政局分会)
鶴谷 一仁 (連合埼玉副事務局長)



下入佐隆行

6月23日~25日に「2013連合平和行動in沖縄」が開催され、連合埼玉からは15名、全国から1,230名が参加しました。平和行動はこの沖縄を皮切りに8月の広島・長崎、9月の根室まで4ヶ所で開催され、ここがその最初の地。初日は那覇市民会館において「平和オキナワ集会」が行われました。式典の最後には次の開催地、広島の前代表者へ想いの詰まったピースフラッグがしっかりと手渡されました。

2日目はピースフィールドワークで連合群馬の皆さんと共に県内の戦跡、ひめゆりの塔を含む4ヶ所を巡り見識を深めました。その後、県庁前において「在日米軍の整理・縮小と日米地位協定の抜本見直しを求める行動」に参加し、オープニング後には国際通りを参加者全員で思いを一つにして、シュプレヒコールを上げながら行進しました。20万人を超える命が失われたあ

の時から、68年経った今もなお、無数に埋まっているであろう不発弾の処理や益々混迷する米軍基地に関する様々な問題など、未だに沖縄県民は戦後から抜けられない現実がそこにはあると、私を含めた参加者は感じたと思います。

一日も早くこれらの問題が解決され、真の平和が訪れる事を願いたいと思います。



田中 茂雄

沖縄戦による戦没者200,656人、内沖縄県出身者122,228人、当時の沖縄の人口が59万人、5人にひとりには戦没したことになります。とてつもない人数に言葉を失いました。そして、今でも沖縄では不発弾が毎年約600件も発見されるそうです。沖縄戦が終わり68年経つ今もお沖縄県民は戦争の負の遺産を抱えていること、今ある平和は当たり前でないこと、私たちはこれらのことをしっかりと次の世代に伝えるべきだと思いました。



ひめゆりの塔とひめゆり学徒が負傷兵を看護した壕のあと



皆川 元規

戦争というものにふれたとき、いつも強烈に突きつけられる事実。それは、なんの罪もないお年寄りや子どもたちも例外なく、それに巻き込まれ尊い命を落としていったという事実だ。自分の子どもに置き換えて考えてみた。とても受け入れられない非日常。絶対に現実のものにしてはならないと改めて自分の心に誓うと共に、今回感じた事を次の世代に伝えていく義務が、我々にも課せられているのだと感じた。



吉田 賢

国内唯一の地上戦が行われた地として沖縄は未だに暗い影を引きずったままの状態であると感じた。米軍基地が約7割を占めたままの状態である事、そのことによる弊害が余りにも大きいと今回参加してよく理解出来た。是非、遠い沖縄ではなく関心を持ち、考えていきたいと思う。



遠藤 有希子

二度目の沖縄でしたが、観光で訪れた前回とは異なり、今回はアブチラガマや旧海軍司令部壕など、戦争当時そのままに残されている戦跡地を目の当たりにし、沖縄戦の悲惨な記憶を追体験するとともに平和への願いを新たにしました。これからも、全国各地の連合の仲間と共に、平和な時代に生を受けたことに感謝し、その尊さを次世代に語り継ぐ行動を、続けていきたいと思っています。



平和オキナワ集会以挨拶をする連合南雲事務局長



橋本 彰夫

今までの自分は、沖縄の問題に対していかに無知、無関心であったことが思い知らされました。基地問題の解決と、沖縄戦の教訓と平和への願いを後世に伝えるためには、当事者ではない我々が出来ることはそれほど多くはないと思います。しかし、それぞれの人が沖縄に興味を持ち、知って、忘れないことを心がける事が、第一歩なのだと感じました。



大塚 弘

6月23日は、沖縄にとっては、とても大切に特別な1日です。米軍が沖縄に上陸して激しい地上戦が展開されました。戦場と化した沖縄では20万人以上の多くの人達が亡くなられ、被災されました。総ての戦没者を悼み、平和を願い、大切さを訴える6月23日です。連合傘下の組織動員で毎年継続して行なわれることはとても意義があり、今後とも続けていきたいと思います。



戦時中、避難場所だったガマに入る



柴崎 直哉

6月23日(日)～25日(火)の日程で連合主催による平和行動in沖縄に初めて参加しました。今、沖縄が抱えている問題、過去の惨事を改めて知ることとなりました。全国の連合が沖縄の事を考え1つの行動を一緒に行うことで、沖縄の抱えている問題に対し、少しでも改善して行って欲しいです。沖縄にとっての6月23日がいかに大切な日かという事を学ぶことができました。



～男女平等参画トップ宣言～

男女が対等なパートナーとして、互いに協力し、家族としての役割を果たしながら、仕事や学習、地域活動に貢献するために、固定的な役割意識にとらわれない、男女共同参画社会の実現に向けた活動に取り組みます。

埼玉県電力総連 会長 依田 修



平和祈念公園に展示してある酸素魚雷とキャタピラー



「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本見直し」を求める行動



国際通りをデモ行進中!



鈴木 勝宏

改めて今回のように戦争について考えながら行動・体験することによって、過去の沖縄の悲惨な体験を再認識し、今なお戦争の結果に苦しめられている問題。この小さな島に全国の米軍施設の74%が集中している現状、絶対起こらないとは言えない戦争の基地としてまたこの場所が使われることがないようにしなければいけないし、平和の尊さ、大切さを語り継ぐことが大事であると思います。



渡辺 真由美

私にとって平和行動in沖縄は今までの戦争に対する概念を根本から覆る衝撃的な内容となりました。戦争は多数の死者を出す怖いもの、という概念から、戦争は人生を狂わせ、人格さえも奪う。更に激戦の中、逃げ戸惑い、隣にいた友達が瞬時に亡くなっている。自分自身さえ守る術を見つけれない恐怖もある。戦争を経験していない私が思う事は、戦争は二度と起こしてはならないし、平和運動を絶えることなく続けていかなければと思った。



村田 真人

沖縄に着いた6月23日、平和オキナワ集会での佐藤氏の基調講演では、戦争は人が人でなくなってしまうと感じ、24日には、糸数アブチラガマを訪れ、真っ暗な鍾乳洞で数ヶ月間も過ごさねばならなかったことは想像の域を超えていました。ひめゆりの塔資料館では、火炎放射により焼かれた兵士の写真を目の当たりし、心が痛くなりました。平和行動は、戦争の悲惨さに触れ二度と戦争を起こさないための活動であると感じました。



青砥 俊浩

今から68年前の10月10日に米軍の爆撃機による激しい空襲が那覇・首里を中心に9時間にわたり市街地の約90%を焼失してから約10ヶ月間続いた沖縄戦で日米合わせて約20万人の人達が戦没したと聞かされたが、一言では言い表せないほどの数字だと思いました。その後、資料館(糸数アブチラガマ)の鍾乳洞だけは、常に嫌な空気が肌に伝わってくるような感じがしましたが、戦争当時は外にいるよりも、そこが一番落ち着ける場所だったかと思うと身が引き締まる思いがしました。本当に現在の日本が平和で良かったと思いました。



大野 政幸

沖縄はリゾート地のイメージが強いが過去にここで地元住民を巻き込んだ日本で唯一の地上戦が行われたことをどれだけの人知っているのでしょうか?私は沖縄南部の戦跡を訪ね、自分の目で見て、地元の方の説明を聞くたびに、戦争の恐ろしさ、悲惨さが心に突き刺さりました。そして平和の尊さを実感できました。今回の体験より戦争の実相をどの様に次世代に伝えて行くかが、とても重要だと感じています。



林 光治

沖縄戦争での犠牲者、平和。言葉では簡単に言うことも、書くことも出来るが、沖縄戦を実体験された方々の証言や遺品、DVDを見ていると戦争を経験してない私たちが戦争は怖い、死ぬのは怖いなどと簡単に語れないと思いました。この平和行動での貴重な体験を通じ、答えは見つからなかったが、私たちは何が出来るのか、何をすべきなのかを考える良い機会になりました。



参加者のみなさん



～男女平等参画トップ宣言～

懸命に働く女性は美しく、それをサポートする意識を持った男性はとてたくましいと思います。情報労連は、男女が共に支え合う生き生き職場づくりに取り組んでいます。

情報労連埼玉県協議会 議長 中沢 範夫

第23回参議院議員選挙

民主党敗北 大きく議席を減らす

今回の選挙結果は、民主党に対し厳しい結果であった。一人区において全敗、複数区においても東京・大阪などの大都市圏で議席を失い、また比例区では改選16議席に対して、7議席の獲得にとどまった。全体では、与党は76議席を確保し非改選50議席とあわせ135議席となり過半数を大きく超えた。民主党は今選挙で大きく議席を減らしたものの、非改選議席とあわせ59議席と辛うじて第二党を守った。また、第3極は微増したが伸び悩み、みんなの党は18議席、日本維新の会は9議席であった。しかし共産党は、都議選の勢いそのままにほぼ倍増の11議席を獲得するに至った。

埼玉県選挙区 投開票結果

	男	女	計
有権者数	2,942,742	2,939,825	5,882,567
投票者数	1,534,913	1,477,645	3,012,558
投票率(%)	52.16	50.26	51.21

候補者指名	年齢	政党	新旧	得票数	得票率	当落
古川 俊治	50	自由民主党	現	1,000,725	34.1%	当
矢倉 かつお	38	公明党	新	599,755	20.4%	当
こうだ 邦子	47	みんなの党	現	485,559	16.5%	当
山根 りゅうじ	65	民主党	現	389,625	13.3%	落
伊藤 岳	53	日本共産党	新	353,594	12.0%	落
川上 やすまさ	48	社会民主党	新	65,749	2.2%	落
谷井 みほ	50	幸福実現党	新	22,345	0.8%	落
みやなが 照彦	56	埼玉の未来を創る会	新	21,358	0.7%	落

埼玉県においては、自民・公明で2議席を確保する一方、みんなの党が初の議席を獲得し、民主党は結党以来の議席を失った。今回の民主党の得票は、選挙区で39万票、全国比例では35万票と、昨年12月の衆院選において民主党が得た比例53万票に対し、大幅に減らす結果であった。

全国比例区では、民主党比例枠が7議席と厳しい況の中、連合組織内候補は9名中6名が当選を果たした。全国での組織内候補者の総得票数は、前回参院選より微増の160万票であったが、埼玉県内では、約8千票減らし5万5千票にとどまった。しかし、今回は組織内候補者が11名だったことを考慮すると、擁立組織を中心にご奮闘頂いた結果であると言える。

今回の結果をふまえ、今後連合埼玉としての第23回参議院選挙について総括を行う。

昨年の衆院選から続く厳しい選挙情勢の中で、構成組織および地域協議会、そして組合員・ご家族の皆様による、獅子奮迅のご協力に対し、心から感謝申し上げます。

全国比例区(組織内候補者) 得票結果

候補者指名	年齢	新旧	全国 ※()内は埼玉県内での得票		当落
			得票数	得票率	
いそざき 哲史	44	新	271,553 (14,002.00)	11.8 (14.8)	当
浜野 よしふみ	52	新	235,917 (6,791.47)	10.2 (7.2)	当
あいはらくみこ	66	現	235,636 (5,683.00)	10.2 (6.0)	当
神本 みえ子	65	現	176,248 (998.00)	7.6 (1.1)	当
吉川 さおり	36	現	167,437 (7,303.82)	7.3 (7.7)	当
石上 としお	51	新	152,121 (6,087.28)	6.6 (6.5)	当
かわい たかのり	49	現	138,830 (6,527.30)	6.0 (6.9)	落
さだみつ 克之	53	新	120,782 (5,262.00)	5.2 (5.6)	落
とどろき 利治	53	現	103,996 (2,657.00)	4.5 (2.8)	落



～男女平等参画トップ宣言～

鉄道・バス・ハイタクは、いまや男性の職場ではありません。運転士、車掌、駅員など、多くの女性が希望を持って働いています。私鉄は今後もより一層快適な職場を目指し取り組みます。

埼玉県私鉄労働組合連合会 執行委員長 間中 範幸

産別オルガナイザーの協力のもと実践オルグ研修会を実施

2013年度「組織拡大委員会(組織拡大研修会)」

6月11日(火)に、あけぼのビルにおいて「2013年度組織拡大研修会」を開催した。本年も「連合埼玉組織拡大一斉オルグDAY」とし、構成組織や地域協議会が一体となり、組織拡大の取り組みを実施した。

実践オルグでは、26名が9班に分かれて57件の未加盟企業に対して、訪問オルグを実施した。結果として当日は直接、組織拡大につながる企業はなかったが、見込みのありそうな企業については引き続き継続的なオルグ活動を行なっていく事とした。

また報告会では「昨年同様、担当者と一緒に話ができた。事前に情報があれば、HPなど見られたり、アポイントを取った方が直接会って話ができたかもしれない」など意見もあり、今後の活動の参考にしていこうとした。



挨拶をする金井委員長



オルグ終了後の報告会の様子

女性のためのSTEP UPセミナー(後期)開催について

労働組合の意思決定の場への女性の参画は、働く環境の改善と男女平等の運動を進めるうえで重要な課題です。女性に、いま以上に組合への積極的な参加と参画を進めるため、「女性役員の育成」を目的とした研修等の継続的な取り組みを進めることとします。

日時	2013年9月13日(金)13:00～ 14日(土)11:00 (1日目のみの参加も可)
場所	さいたま共済会館
内容	1日目①「第4次男女平等参画推進計画」について ②組合活動&業務遂行以外でも役立つ! 「職場リーダーとして自らそして相手のやる気を高めるモチベーション向上セミナー」 講師:(株)OKIプロサーブヒューマンサポート事業部 2日目①「ホイップデコ」してみませんか?
対象者	今までに基礎編を受講された方、応用編に興味のある方 構成組織・加盟組合の下記①②③に関わっている女性組合員 ①女性活動や青年女性活動に関わっている。 ②職場委員の経験がある。職場委員である。 ③新任の執行委員
規模	30名程度
	※詳しくは、連合埼玉発信文書121号をご覧ください。



熱中症に注意して楽しい夏を過ごしましょう!

埼玉県内で熱中症による救急搬送された方は7月21日現在1,266人います。(昨年7月は1,459人)屋外だけでなく家の中にも湿度や室温が高くなると、熱中症になる可能性があるため注意が必要です。

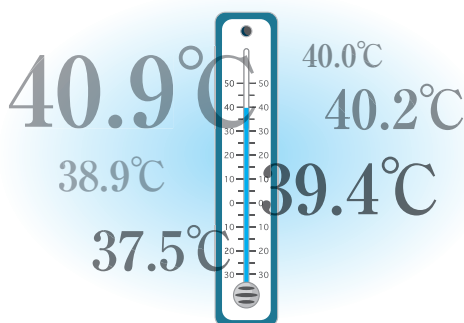
これからますます暑くなるこの時期は熱中症による救急搬送が多発しています。しっかり予防して暑い夏を過ごしましょう。

熱中症にならないために…

- のどが乾かなくても、こまめに水分補給をする。
- エアコンや扇風機等を活用する。
- 暑さを避ける。
- 服装に注意(風通しが良い涼しい服装)

熱中症になってしまったら…

- 水分・塩分を補給する。
- 涼しい場所へ避難し、衣服を緩める。
- わきの下や足のつけ根を冷やす。



～男女平等参画トップ宣言～

印刷産業では女性の比率は15%程度で決して高くはありませんが、徐々に、監督職、管理職への登用も増えてきています。今後も男女平等参画社会の実現を目指し、取り組んで参ります。

印刷労連関東北部地方協議会 議長 小川 義寛

「メンタルヘルス研修会」開催

～ストレスチェックの活用・事例対応～

連合埼玉は6月27日(木)、メンタルヘルス研修会(応用編)として、自らのストレスチェックを取り入れた「ストレスチェックの活用・事例対応」をテーマに、構成組織の組合役員と各企業の人事や総務担当者26名の参加者のもと開催した。

冒頭、佐藤事務局長より「内閣府が3月14日に発表した、2012年の全国の自殺者は2万7858人(前年比9.1%減)で15年ぶりに年間3万人を下回った。自殺者の動機別では健康問題(49%、13,629人)が最多となっており、引き続き職場における心の健康問題(うつ病)への対応は、労使共に連携し取り組まなければならない極めて重要な課題である。メンタルヘルスの適切な対策や教育研修・情報提供の必要性から、今年度はストレスチェックの活用・事例に基づく対応についてをテーマとした。今年は参加者の半分が会社の人事関係者と聞いている。是非、この機会をとおり労使で課題を共有して、取り組みの参考にしてほしい」との挨拶がされた。

研修会では、東京メンタルヘルス(株)所長の武藤清栄氏を講師に招き、「ストレスチェックの活用・事例対応」をテーマに、職場のメンタルヘルス対策の目的、メンタルヘルスの現状、ストレスによる主な精神疾患のグループ内での課題共有から始まり、講師の方の経験した事例をあげながら研修が進められた。また、事前に実施してもらったメンタルスクリーニングシートを活用してのストレスチェックでは、結果をふまえた講義が行われた。

参加者からは、「事例に対してグループ内での議論を交え、メンタルヘルスの対応の仕方を学ぶことが出来た」、「参加者の実態事例を事前に聴取して対応方法をグループで討議し講師にアドバイスをもらうスタイルなどもいいと思います」、「大変良い講義だったが、レジメと内容が合っていない」などの声をいただいた。

連合埼玉は9月26日(木)に第2回メンタルヘルス研修会(基礎編)を開催予定です。



挨拶をする佐藤事務局長



講師・東京メンタルヘルス(株)所長
武藤清栄氏



研修会の様子



～男女平等参画トップ宣言～

我が家は嫁さんと娘2人の4人家族ですので男女平等どころか女性優遇ですが、働く環境はまだまだ女性の活躍の場が少ないのが現実です。JECでは「男女平等」という言葉が必要なくなるまで、運動に取り組んでいきます。

JEC連合埼玉地連 議長 井上 聡

～顔あわせ・心あわせ・力あわせ～

青年委員会「ユースラリー」の開催について

連合埼玉青年委員会では、全構成組織青年層との交流を通じ、各構成組織間の交流と青年相互の仲間意識を高め青年活動の活性化を主眼に「ユースラリー」を開催します。

- ◆目的 ①構成組織間の枠を越えた異業種間の交流を深め、新たなネットワークを作る。
 ②青年層に求められていることを再認識し、今後の労働運動に役立てる。
 ③次代を担う立場であることを共感し、共に学び・考え・行動できる人材を育成する。

日時	2013年8月31日(土)13:30～ 9月1日(日)12:00
場所	ゆうパークおごせ
内容	1日目 ①自己紹介(顔あわせ) ②青年委員会活動報告(心あわせ) ③基調講演「政治活動について～若者へのメッセージ～」 意見交換「なんでも答えます連合埼玉」 講師:連合埼玉事務局長 佐藤道明 氏 ④グループ対抗戦(力あわせ) 2日目 ①男女ともに共有できるイクメン学習会(仮称) 講師:飯島絵理 氏(独立行政法人国立女性教育会館研究国際室客員研究員)
対象者	・先着50名(青年委員会幹事を含む) ・連合埼玉加盟組合員で概ね40歳までの男女 (各構成組織1名以上と女性の積極的なご参加にもご協力ください)

※詳しくは連合埼玉発信文書118号をご覧ください。

現在予定される8月の日程表です

8月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 木		①埼玉労協理事会(10:00～ときわ会館) ②平成25年度第4回埼玉地方最低賃金審議会
2日 金		平成25年度第5回埼玉地方最低賃金審議会
3日 土		埼玉県電力総連「第33回定時大会」(10:30～ときわ会館)
4日 日	平和行動in広島(～6日)	①連合関東ブロック連絡会第3回幹事会(13:00～・甲府富士屋ホテル) ②連合関東ブロック連絡会中央ろうきん協力会議(15:00～・甲府富士屋ホテル)
5日 月		平成25年埼玉地方最低賃金審議会予備日
6日 火	第9回四役・執行委員会(ときわ会館)	
7日 水		平成25年埼玉地方最低賃金審議会予備日
8日 木	平和行動in長崎(～10日)	
9日 金		
10日 土	ネットワークSAITAMA 21「山の学校inときわ」	
11日 日	ネットワークSAITAMA21「山の学校inときわ」(県内避難者支援)	
12日 月		↑ 事務所夏季休暇 (12日～16日) ↓
13日 火		
14日 水		
15日 木		
16日 金		
17日 土		
18日 日		
19日 月		
20日 火		平成25年度第6回埼玉地方最低賃金審議会(異議審)
21日 水		2013年「組合づくり・オルガナイザー研修会(基礎編)」(13:00～23日12:00・晴海グランドホテル)
22日 木		労協協東部ブロック「ライフサポート事業経験交流」(13:00～ 23日12:00・新潟東映ホテル)
23日 金		
24日 土		
25日 日		
26日 月		特定最賃合同専門部会(14:00～・埼玉労働局)
27日 火		①労協協代表者会議(10:00～・ときわ会館) ②連合関東ブロック連絡会2013年度地域協議会役員会議(14:00～17:30・箱根湯本ホテルおかた)
28日 水		
29日 木		埼玉労協企画委員会(10:00～・ときわ会館)
30日 金		埼玉労協協福祉フォーラム(13:30～・ときわ会館)
31日 土	青年委員会ユースラリー(13:30～ 1日・ゆうパークおごせ)	



～男女平等参画トップ宣言～

我々フード連合では、組合意志決定機関への女性の参画を拡大することを目的とした「ポジティブ・アクション20」を更に推奨していきます。性・年齢に関係なく、互いに理解し、関わり、創る社会を目指します。

フード連合埼玉地区協議会 議長 清水 和之

あけぼのビル

事務局長 佐藤 道明

◆第23回参議院選挙を終えて

7月4日公示、21日投開票で行われた第23回参議院選挙は、自民党が65議席を獲得し、公明党とあわせて過半数を大きく超える議席を獲得した。衆議院でも3分の2を超す議席を有する巨大な与党が誕生し、自民党が選挙の争点とした「ねじれ」を解消した。

一方、乱立する野党は、どの政党も大きく議席を伸ばすことはできなかった。これまで参議院の第一党であった民主党は、惨敗を喫し17議席を確保するにとどまり、非改選議席と合わせても59議席へと落ち込んだ。昨年末の総選挙から6ヶ月あまり、民主党は党再生を進めるとともに、選挙戦では「暮らしを守る力になる」のキャッチフレーズで人を大事にする政治を掲げて戦ったが、国民の信頼を回復するには至らなかった。

◆さらに信頼を失った6カ月(埼玉選挙区の戦い)

埼玉選挙区では、連合推薦の民主党公認「山根隆治」候補が、厳しい選挙戦を最後まで戦い抜いたが、389,625票で次点に終わり、1998年の結党以来、守り抜いてきた民主党の議席を失うこととなった。2007年の参院選では埼玉選挙区で2人を擁立し141万票を獲得。2010年も2人を擁立したが、当時の首相が消費税増税を突然口にし、選挙戦は逆風を受けながらの戦いとなった。結果1人の当選となったが2人の得票数の合計は110万票を超えた。

埼玉県内での全国比例区では2010年99万票(得票率31.28%)を獲得したが今回は35万票(11.89%)にまで落ち込んだ。昨年末の衆院選において県内で民主党が獲得した比例票は53万票であり、この票は国民の信頼を失っていた中でも有権者が民主党を信頼してくれた53万票であったはずである。そして党大会や県連大会において民主党再生のために議論がされ、再生を誓い合ったのではなかったのか。衆院選小選挙区で14人から3人に現職を減らし、従来のような活動ができないことはやむを得ない。総支部長も地方議員を含め総支部の持てる力で懸命に戦ったと思う。しかし、6カ月間で信頼を回復するどころか、さらに信頼を失っていたのは何故なのか。

ある新聞社の調査では、民主支持者の投票先は民主候補に60%にとどまり、自民候補に8%、公明候補に8%、みんな

候補に13%、共産候補に6%と他党候補に一定数流れている。無党派層の投票先は自民とみんなに26%、共産に15%、公明に13%、民主は12%である。また、自民支持者の投票先は72%が自民、公明に13%、みんなに7%、民主と共産が2%である。公明候補への13%は自民党が公明候補を推薦したからと納得ができる。この調査結果だけを捉えれば、与党を経験し自民党と対峙する民主党が、現政権への批判票の受け皿になれなかったために、53万票から35万票に激減したことも納得できる。

◆善戦はしたが(比例代表選挙の戦い)

連合は、比例代表選挙で9人の組織内候補を擁立し、組織を挙げて闘いを進めたが6人の当選にとどまった。民主党の比例獲得議席数が7議席の中で6人が当選できたことは善戦だったと言えよう。しかし、9人の候補者名での得票数は160万票で前回の159万票から微増したとは言え、675万人の組合員を要する連合が出した票と考えるならば喜んではいられない。埼玉県における9候補者名での得票数は5.5万票で前回の6.3万票から8千票減らしている。投票に行った人に比例の投票先を聞くと政党名で投票した人が複数いた。衆院選の比例は政党名での投票、参院選は政党名又は候補者名と選挙制度の違いはあるが、何故、候補者名での投票を徹底しきれないのだろうか。参議院選挙後に必ず課題になることであるが、しっかりと分析をしていかなければならない。

◆党再生と信頼回復に全力を

今回の参議院選挙で、国民は安倍政権に大きな権力を与えた。しかし、政策はあくまでも国会での与野党による真摯な議論の上に進められなければならない。与党の暴走はゆるされない。安倍政権が進めようとしている三本の矢によるアベノミクスは大きなリスクを抱えている。労働者保護規制の緩和など絶対に許すわけにはいかない。今、優先すべきは国民生活の底上げをはかる政策であり、雇用と全世代支援型の社会保障制度の確立である。

民主党は、今回の結果を真摯に受け止め、改めて党再生と信頼回復に全力で取り組んで貰いたい。また、今後の国会では野党第一党としての役割を果たし、引き続き生活者、働く者の代弁者として自民党に対峙していくことを求める。

最後に困難な状況の中で、選挙戦にご尽力いただいた構成組織・地域協議会の役職員、組合員と家族、退職者を含めたすべての関係者のみなさまに心から感謝申し上げます。

2013.7.24